

令和5年度学校推薦型選抜 I

専門高校・農業関連学科推薦

小論文

農学部 生物資源科学科

令和4年11月23日（水）実施

10時00分～11時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、1つの設問がある。  
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。  
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

(令和5年度 学校推薦型選抜Ⅰ)小論文試験問題

(農学部生物資源科学科)

【問題】

近年、遺伝子組換え技術が発達し、除草剤に耐性を持つセイヨウナタネ、コラーゲンを生産するカイコ、そして筋肉量が増加した豚などが研究・開発されている。

そこで、あなたが将来、これまでにない新たな植物、昆虫、あるいは動物を遺伝子組換えによって開発する場合、以下の①～④について、あなたの考えを800字程度で述べなさい。

- ①どのような生物種を用いるのか
- ②遺伝子組換えによって、どのような有用形質を付与したいのか
- ③その遺伝子組換え生物の開発によって人々の暮らしがどのように豊かになるのか
- ④その遺伝子組換え生物の開発によって、どのような問題が生じる可能性があるのか